

問 毎年5月末をめどに危険箇所
の巡視を行っている。河川堤防の
状況は水防監視員により随時巡回
している。堤防、地すべり地域を
パトロールした結果、被害はな
かった。今までも急傾斜地など
対策工事を行っており、今後も危
険度の高いところから対応する。
県の土砂災害防止法に基づき、対
象区域住民への情報提供と避難体
制の整備を行っている。

消防団の今後の対応は

問 災害時に出勤し、市民の安全・
安心を守る消防団は、人員不足に
より再編成が進んでいるのが現状
であるが、今後の対応はどうか。

答 昨年12月に3つの消防団を一
消防団体制とした。1346人の
定員中、実員は1302人で、団
員確保は全国的な問題であり、団
員確保に努力する。

女性消防団の増班を

問 震災では後方支援の必要性が
指摘された。ソフト面での被災者
への気配り、目配りが重要となる
中、女性の視点からも女性消防団
を1班増設してはどうか。

答 女性消防団の増班が可能かど
うか検討する。

答 私自身これまで契約書そのも
のがあるかないかというようなこ
とを直接的に言及した覚えはな
い。契約書がないという前提で発
言されていることは十分理解して
いるが、私自身それに対してどう
こう言うような課題でもないと思
っていたので、あえて申し上げて
いない。

問 今訴訟があり、証拠書面を出せ
という状況で、実際のありようの
姿を提出しなければならぬので
提出した。第四銀行との間で土地
売買に関する覚書は存在してい
る。株主総会であったかもうそをつ
いたかのような指摘があったが、
一般論として必ずしも紙ベースで
契約が成立するものではない、第
四銀行の上層部の方々と直接面談
で確認したことを言った。紙であ
ろうがなかろうが、それ自体が契



パルム1跡地

問 三条地区の除雪も栄・下田地
区と同様に委託業者の判断とし
てはどうか。

答 業者の自主判断は、早い対応
が可能という反面、各業者の判断
がまちまちになるおそれもある。
これらの問題を解決した上で、今
後委託業者と調整を図りながら、
三条地区においても同様な取り組
みができないか検証していきたい。

ボランティア制度について

問 自治会や老人会を中心とした
有料による災害・除雪ボランティ
ア制度を考えてはどうか。

答 除雪ボランティアには健幸マ
イレージ制度のポイントが付与さ
れる状況ではないが、ボランティア
が自らの健康にもつながり、多
くの方々の幸せとなって還元して
いくので、今後健幸マイレージ制
度とのリンクについて積極的に検
討を進めていきたい。

地域保全型入札制度について

問 地域の維持管理等に協力して
いる企業を地域貢献企業として認
定し、優先的に指名する地域保全
型入札制度を実施してはどうか。

答 地元企業の優先、育成には十
分意を用いている。災害時や降雪
時には建設業者の方から協力的

約だということと言った。紙が存
在していないということと言った
覚えは全くない。

**都市計画道路の進捗と
今後の予定は**

問 現在41路線中7路線が未着
手。まずは新保裏館線と国道8号
拡幅の完成を急ぐべき。

答 市の事業については、選択と集
中で整備を進める。国県の事業は
事あるごとに要望していく。

**通称第2産業道路の
渋滞解消について**

問 信号制御に問題はないか。

答 交通量の増加が問題であり、
信号制御による渋滞緩和には限界
がある。
問 混雑の少ない第1産業道路へ
の誘導を促す流量反応型案内表示
板の設置はできないか。また、両
道路分岐点である東三条と石土地
内交差点を常時左折可能交差点に
できないか。

答 管理者である県に対して要望
する。

東三条地区の往来困難について

問 東三条駅南口と正面口へ往来で
きる自由通路を設置してはどうか。

答 駅前道路・広場等の整備と合

だいていることは十分承知している
ので、なお一層入札執行において
地元企業への優先といったことを
旨として事業執行していきたい。

**東日本大震災による
避難者受け入れについて**

問 三条市の示す「1人残らず生
活再建できるまで全力で支援す
る」とは具体的に何を指すか。

答 福島県内に仮設住宅が確保さ
れ、第2の中期的な避難生活を築
き上げていく、そこに送り出すま
でが私たちが全力で支援する時期。

**旧まるよし本店跡地への
スーパー出店について**

問 あいでんが出店する来春以
降、中央商店街運営の補助金事業



コンパクトストアまごころ

わせ必要だと認識するが、新都市
計画のイメージがまだであり、現
時点での早期着工は難しい。

問 市道東三条北入蔵線の歩行者
安全確保のために、東三条陸橋西
側丁字路を交差点化し市道大立線
と接続し、北入蔵方面への車の流
れを変えられないか。

答 以前にも検討したことはある
が、地権者から協力が得られなかつ
た。また、東三条北入蔵線の拡幅
も多額の事業費となるため難しい。

腎不全の予防に向けて

問 腎不全は人工透析で生きるこ
とができるようになった。腎不全
の予防に向けてどのような取り組
まれるのか。

答 糖尿病の予防が重要。糖尿病
予防キャンペーンで簡易な血糖検
査を実施し、健診の受診行動への
誘発を図る。受けやすい健診スタ
イルとして半日ミニドックを実施
し、受診率の向上とともに、保健
指導の利用率を図りたい。

避難者の健診について

問 福島県から避難された方が健
康で故郷に戻れるように、健診を
受けられるようにできないか。

答 制度上困難性が高い課題であ
り、全国市長会でも国に要望して

「コンパクトストアまごころ」は
今後どうなるか。

答 三条小学校区の高齢化率42.8%
を考慮しても徒歩圏内に、ある程度
充実した機能の生活基盤があるこ
とが望ましく、今回の出店は大変
ありがたい。できる限りの支援を
していきたい。「まごころ」の今後
については商店街からアイデアを
伺っている。現時点で閉店の可能
性は全くない。

**子育て中の母親に対する
就労支援について**

問 保育所(園)に子どもを預ける母
親のうち、今年3月時点で504名
が求職中。雇用対策協議会の活用な
ど市は早急に対策に取り組むべき。

答 助成制度の平たい周知だけで
なく、市がもう少し積極的に関与
していかなければならない。雇用
対策協議会活用については関係部
局とも調整し、ピンポイントの支
援もしていきたい。

パルム関係について

問 地元紙の報道で、「株主総会
でパルム1跡地の契約について、
第四銀行との契約はあうんの呼吸
で口約束、契約書類がないと言っ
た」との報道は事実なのか。

いる。現在、新潟県と福島県とで
協議中である。

大崎山公園の整備について

問 大崎山公園を整備して桜の名
所、山歩きなど市民の憩いの場
にしてはどうか。案内看板の記載内
容は、事実と合っていないのでは
ないか。

答 入口の案内板は今年度修繕す
る。指摘箇所について指定管理者
と話し合い改善したい。桜の花は
ウソの被害、危険な状態の樹木に
ついてはパトロールして対応して
いきたい。



今後修繕される大崎山公園案内板